

当社の健康経営施策



東京海上日動ベターライフサービス(株)

社員の健康保持・増進に関する指標

健康に関する指標

項目	2019	2020	2021	2022	2023	KPI
健診診断受診率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
定期健診有所見率	49.5%	48.3%	48.7%	47.3%	46.0%	
精密検査受診率	70.5%	92.1%	76.4%	78.0%	78.0%	
特定保健指導実施率	—	—	—	9.9%	15.5%	
ストレスチェック受検率	91.6%	89.1%	90.5%	94.3%	94.2%	
高ストレス者	12.1%	9.4%	10.8%	12.2%	13.1%	
ハイリスク者の管理率	5.7%	2.9%	4.8%	5.1%	4.7%	
喫煙率	21.4%	18.4%	19.5%	18.6%	16.6%	16.5%
インフルエンザ 予防接種率	65.3%	89.0%	82.0%	91.0%	87.0%	90%
乳がん検診受検率	—	82.6%	83.4%	84.5%	81.1%	84%
子宮がん検診受検率	—	66.4%	66.5%	65.7%	63.0%	67%
血糖リスクと考えら れる人の割合	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.5%	
疾病による退職後の 復帰者数	—	9人	10人	9人	18人	

働き方・労働安全に関する指標

項目	2019	2020	2021	2022	2023	KPI
平均年次有給休暇取得率	73.0%	61.3%	61.2%	64.5%	67.9%	
平均有給休暇取得日数	13.0日	11.3日	11.8日	12.4日	13.0日	
長時間労働者	0人	0人	7人	4人	3人	
平均勤続年数 男	7.2年	7.6年	8.0年	8.2年	8.8年	8年
平均勤続年数 女	6.5年	6.7年	6.9年	7.0年	7.3年	
離職率	14.9%	12.8%	12.7%	12.36%	11.2%	10%
衛生委員会実施回数	69	80	84	71	84	
労働・通勤災害件数※	15件	35件	24件	33件	25件	

※休業4日以上之死傷災害を集計、危険源の特定：介助時の移譲動作（腰痛）・自転車事故等

当社の健康経営施策



東京海上日動ベターライフサービス(株)

社員の健康保持・増進に関する指標

健康リテラシー・健康増進意識に関する指標

項目	2019	2020	2021	2022	2023	KPI
健康的な食生活を送る社員の割合	—	—	—	1.3%	1.3%	
身体活動習慣の社員の割合	28.2%	33.3%	33.4%	31.4%	34.3%	
睡眠で十分休養がとれる社員の割合	55.1%	61.0%	58.8%	61.4%	59.3%	
適正な生活習慣を有する者の割合※1	—	—	—	—	108.2	
職場コミュニケーションに満足している割合	—	—	—	50.5%	47.1%	52%
女性の健康課題に関する施策への参加率※2	—	(10.0%)	(26.0%)	(26.0%)	6.7%	
社内交流 (全店イベント回数)	—	—	—	—	3	
e-learningの回答率 (隔月実施の平均) ※3	—	—	—	—	6.7%	
メンタルプロジェクト参加率※4	—	—	—	77.8%	—	

生産性に関する指標

項目	2023 (注4)	2024
アブセンティーズム (単位:日) (注1)	3.96	—
プレゼンティーズム (損失割合、単位:%) (注2)	22.6	—
ワーク・エンゲイジメント (単位:偏差値) (注3)	51.4	—

(注1) 病気やケガで休んだ日数の平均値

(注2) 何らかの疾患や症状を抱えながら出勤したことによる労働生産性の損失割合

(注3) 新職業性ストレス簡易調査票に基づく偏差値 (全国平均: 50)

(注4) 測定人数991名、回答率90.5%

(ストレスチェック実施時に、Healthy Life Survey として調査)

※1 生活習慣 (喫煙、運動、食事、飲酒、睡眠) の値の合計値の平均値を指標とする

※2 2023年度より対象者を拡大したため、母数に変更となっている

※3 年間を通じて隔月で健康に関する2~3つのテーマについて実施

※4 メンタル不調を予防するための取組み (事業所長_参加率) 2022年度より実施、

2023年度は専門医不在により実施せず、2024年度参加率92.5%

当社の健康経営施策



東京海上日動ベターライフサービス(株)

課題と取り組み内容

	< 課題1 > 組織の活性化	< 課題2 > 人材定着や 採用力向上	< 課題3 > 喫煙率の低下	< 課題4 > 感染症対策 (インフルエンザ予防接種率 向上)
内容	快適な職場環境の形成を目指して『ONE BLS』の取り組みや各種社内イベントを通じて、社内交流を活性化させたい。	健康で生き生きと長く活躍できる職場をつくり、人材を定着させたい。	喫煙は健康に悪影響を与えることが確認されている中で、当社は東京海上グループの中で喫煙率が高い。	業務上高齢者との接点が不可欠であり、感染症予防は重点を置いている。
目標・期待する効果	交流を通じて各社員が社内で活躍できるフィールドやチャレンジの場を広げ、働き甲斐を感じる職場となり、ワークエンゲージメントを向上させる。 【目標】 ワークエンゲージメント：52	人材定着によりベテラン層が厚みを増すことにより、品質の高い介護サービスの提供につながり、お客様満足度が向上し、安定した事業運営につながる。 【目標】 離職率：10%以下 平均勤続年数：8年以上	喫煙習慣を減らすことで、本人および周囲の人の健康を害するリスクを低減させ、プレゼンティーズムの改善につなげる。 【目標】 喫煙率：16%以下	ご入居者・お客様の感染リスクを減らすことに加え、社員の罹患リスクを減らすことで、アブセンティーズムの改善につなげる。 【目標】 接種率：90%以上
主な施策	全社イベントの実施や部門を跨るプロジェクトへの参加呼びかけ、事業所ごとの各種行事や活動を通じて、コミュニケーションを活発に行う風土を醸成する。	課題1の組織活性化を通じて、ワークエンゲージメントを向上させ、より長く当社で働きたいと感じられる職場づくりを継続的に実施する。	喫煙に関する啓発活動・栄養指導や、禁煙外来費用補助・禁煙補助剤の費用補助、職場内禁煙の継続・徹底	感染情報専用掲示板での情報発信やインフルエンザ予防接種費用の全額補助・罹患時の特別休暇制度等
効果検証	【検証】 ワークエンゲージメント 2023年度 51.4 2023年度より計測を開始しており2024年度以降、施策と数値の変化を分析検証していく。	【検証】 離職率 平均勤続年数 2023年度 11.2% 7.6年 2022年度 12.4% 7.3年 2021年度 12.7% 7.1年 離職率は漸減傾向にあり、平均勤続年数は漸増傾向にあることから、これを維持し目標達成につなげていく。	【検証】 喫煙率 2023年度 16.6% 2022年度 18.6% 2021年度 19.5% 喫煙率は減少傾向にあり、引き続き禁煙支援施策を継続する。	【検証】 接種率 2023年度 87% 2022年度 91% 2021年度 82% 前年に目標達成したが、2023年度は目標割れしたため、感染予防の必要性を社内に徹底する。